

REPRESENTASI STOIKISME DALAM ANIME MUSHISHI KARYA

YUKI URUSHIBARA

ANDREAS DWIYANTO

43131.520190.013

STBA JIA

2023

ABSTRAKSI

Penelitian ini berupaya untuk mmengkaji representasi stoikisme dalam karya sastra anime dengan pendekatan semiotika. Stoikisme adalah konsep yang mengajarkan individu pada penggunaan nalar atau rasionalitas dan bagaimana cara mengendalikan emosi negatif yang terkendali dengan cara menerapkan dikotomi kendali maupun membebaskan diri dari rasa ketergantungan serta kekhawatiran yang belum tentu terjadi dalam kehidupan ini. Pembahasan fenomena stoikisme pada sebuah sastra, selain karena menarik dan mempunyai karakternya tersendiri. Stoikisme dianggap memberi cerita baru ke dalam sebuah sastra khususnya dalam penerapan kehidupan. Konsep semiotika yang digunakan pada penelitian ini adalah model ROI yang ditawarkan oleh Charles Sander Peirce, sementara untuk konsep stoikisme, penelitian ini menggunakan konsep yang dipaparkan oleh Henry Manampiring. Metode penelitian yang digunakan adalah kualitatif deskriptif. Analisis data dalam penelitian sebanyak 20 data dan hasil analisis tersebut menunjukkan terdapat enam konsep stoikisme yang terepresentasi dalam penelitian ini yaitu, hidup selaras dengan alam, dikotomi kendali, mengendalikan interpretasi dan persepsi, memperkuat mental, *amor fati* dan menghadapi kesusahan dan musibah.

Kata Kunci: *Mushishi*, semiotika, stoikisme, sastra Jepang

ゆきうるしばらのアニメ「蟲師」におけるストイズムの表現

ANDREAS DWIYANTO

43131.520190.013

STBA JIA

2023

要旨

本研究は、ストア派の表象についての探求を目的としている。アニメ文学作品にセミオティクスのアプローチを適用し、ストア派の表現を考察している。ストア派とは、個人が理性や合理性の使用法、およびネガティブな感情の制御方法を学ぶ概念である。この概念は、制御と解放の二重性を通じて、依存感や未来への不安といったテーマに対処する方法を提供する。これにより、現実世界では稀ながらも、依存感や不安からの解放を可能とする。本文学研究は、セミオティクスのアプローチを用いてアニメ文学作品内のストア派の現象を分析し、興味深い知見を提供している。また、独自の視点を持っている。特に、ストア派は現実世界への応用において、文学作品に新たな物語をもたらすとされている。この研究では、セミオティクスの概念として、チャールズ・サンダース・パースによって提唱されたROIモデルが活用されている。また、ストア派の概念に関しては、ヘンリー・マナンピリングによって提唱されたアイデアが採用されている。研究方法としては、質的記述法が選ばれており、20のデータが分析の対象となっている。これらの分析結果から、以下の6つのストア派の概念が明らかにされている：自然との調和に生きる、制御の二重性、解釈と認識の調整、メンタルの強化、アモル・ファティ（運命への愛）、そして苦難と災難への立ち向かい。

キーワード: 蟲師、セミオティクス、ストア派、日本文学

ゆきうるしばらのアニメ「蟲師」におけるストイズムの表現

Andreas Dwiyanto

43131.520190.013

第一章 はじめに

A. 背景

ストア派（ストイシズム）は、古代ギリシャの時代にゼノンによって創設された哲学の一派であり、またストア派としても知られている。この派閥は普遍的な性格を有する、初期の哲学的潮流のひとつであり、哲学者たちは常にギリシャを最も高度な文明を築いた民族と見なしていた。ストア派の哲学において、人生のあらゆる出来事は中立的であり、善も悪も存在しないとされている。善と悪は、我々がそれらの出来事に対して抱く解釈に由来するものである。ストア派の哲学者たちは、幸福を追求すべきではなく、代わりにネガティブな感情を軽減することに焦点を当て、それを通じて感情に対処する能力を養うべきだと考えていた。

B. 問題の定式化

背景によると、問題は、「蟲師」のアニメにおけるストイシズムの表現はどのようになっているか？

第二章 理論的基礎

A. セミオティクス概念

セミオティクスとは、サイン、対象、および解釈者という三つの主体間の相互作用、影響、または協働を指し示す概念である。ここでの主体とは、抽象的なセミオティクスの実体を指し、具体的なコミュニケーションの習慣による影響を受けまない。サインは、ある事物を解釈の結果と関連付けるものであり、何か別の事柄をある特定の方法で表現する (Ambarani&Umay, 2018, 73)。

a. サインの意味

いくつかの学者によると、サインの理解やシンボルの命名は、ピアス (Peirce) が特定の特徴に基づいて区別している。シンボルはインデックスとアイコンの2つに分類され、音節、単語、文、段落などの部分に焦点を当てることで分析が可能である。シンボルシステム間の関係について言及する際、メタファー、任意性、そして同等のサインシステムといった要素が存在することが指摘されている (Ambarani & Umay, 2018, 74)

b. サインの種類

Fiske (Ambarani&Umay, 2018, 76-77) によれば、ピアスが提唱したサインの種類は以下の通りである。最初に、アイコンは、その指し示す対象と類似していると解釈されるサインである。次に、シンボルは、その意味が指し示す対象とは異なるが、社会的な規約に基づく任意性のあるサインとして理解される。そして、インデックスは、指し示す対象と自動的に関連しているか、因果関係 (存在) を持つサインとして解釈される。

B. ストア派

1. ストイシズムの意味

セネカによれば、ストア派の実践者は常に喜びと最も深い幸福を感じるべきであり、自身の幸福を見出す能力を持ち、内から湧き出る喜びを追求する必要はないとされている (Manampiring, 2019, 26)。

2.ストア派の原則

ストア派の哲学は、人生の平穏さ、十分な生活、心と精神の平和に焦点を置いている。ストア派の信奉者は一般にストア派と呼ばれ、自己の内外のあらゆる状況に対して穏やかな心を持つことが多いである。特に困難な状況や予期せぬ状況に直面しても、ストア派は穏やかに生きる方法を教えている (Manampiring, 2019, 36-212)。この学派の主な目標は自己制御を獲得することである。以下に、ストア派のいくつかの原則を示す。

a. 自然と調和して生きる

自然と調和して生きる人間とは、そのデザインに従って生きる人間であり、理性を持つ存在である。アレテの概念と関連して、アレテ (徳) や善行に生きる人間は、理性と判断力を最大限に活用することを目指す。これが、人間の本質であり、根本的な性質である。

a. 制御の二分法

個人自身が制御することができる場面もあれば、一方で個人の手には負えない場面も存在する。この原則は「制御性の」として知られている。

b. 解釈と知覚の制御

ストア派哲学においては、個人の感覚によって捉えることができる「印象」と、それを視覚や聴覚によって受け取り、解釈や意味を付与する「表象」との間に区別が存在する。

c. メンタルの強化

生活の困難に対処するために、メンタルを強化する方法として、ストア派哲学は一見すると矛盾したアドバイスを提供している。ラテン語では、このアドバイスは「悪意の事前考慮」または「計画的なイビル」と表現され、つまり悪い出来事を事前に考えることを指す。

d. アモル・ファティ (運命を愛する)

個々の人間は、現在に抗い否定する道を選択することもできる (「自然に抵抗する」という意味)、または現状を受け入れて学ぶ道を

選ぶこともできる（「現状を愛する」という意味）。ラテン語の「アモル・ファティ」は「運命の恋」と訳され、運命を愛することを意味する。

e. 困難と災難への対処

ストア派の応用の一つは、困難や災難に直面した際にどのように対応し行動するかである。ストア派は、ネガティブな出来事を試練と解釈し、成長の機会と捉えるよう教えている。

3. ストア派の主要な目標

（Manampiring, 2019, 27-29）ストア派の哲学は、アレテ/徳/善行による生き方を全ての信奉者が追求すべきだと信じている。ストア派が特に達成したい目標は以下の通り：

- a. ネガティブな感情から解放された生活
- b. 徳（善行）を磨いた生活



第三章 研究方法

この第三章では、研究者は、この研究で使用される方法と手順について説明する。たとえば、準備、実施、完了、データ収集、データ分析である。

A. 研究方

研究者は、記述的な定性的研究方法論を使用され、研究を実施することを目的であり、使用されるデータソースを理解することができる。研究を行うにしたり、研究の開始は2023年3月であり、研究者が訪れた場所はJIA外国語大学であり、研究者はいくつかのサイトやジャーナルから二次データを取得するために検索した。

B. 研究手順

研究にはいくつかのステップと段階があり、研究を体系的に行うためのものです。これらの段階は、準備段階、実施段階、および完了段階に分けられる。最初に、研究者はテーマを見つけ、対象を決定し、問題の定義を行い、タイトルを考案し、情報源と理論を選定し、背景をまとめます。次に、実施段階では、研究者はアニメ「蟲師」からのデータや書籍、ジャーナルなどから他のデータを収集し、アニメ「蟲師」を読み、視聴し、データをグループ分けし、説明する。そして最後の段階は、完了段階であり、研究者はその結果を議論し、まとめ、分析結果を報告する。

C. データ収集の方法

この研究でのデータ収集は、使用されるデータソースを観ることによって行われ、その後は、研究者はデータ収集に使用されるリスニング方法とメモ取り技術方法を使用する。リスニング法は、書き言葉や話し言葉を使ってデータを収集する方法であり、メモを取る手法であり、研究対象から直接データを書き込む方法である。データ収集が実行された後は、研究における問題の定式化に答えるために準備された理論に従って使用されたデータをグループ化する。

D. データ分析の技術

この研究で使用されるデータ分析技術は、問題の定義に従ってデータを収集し、そのデータを説明する記述的データ分析技術です。研究者は、チャールズ・サンダー・ピアスの理論を用いてアニメ「蟲師」におけるストア派の表現、対象、解釈を説明し、ストア派の概念に基づいてデータを提示・分類し、結論を導き出し、書面で報告する。

E. データソース

研究者は、アニメ「蟲師」からのデータソースを使用しています。また、この研究において研究者が使用する二次データソースは、哲学の基本に関する書籍と記号論の書籍から得られている。



第四章

データ分析

この章では、研究者は「蟲師」というアニメ作品内でのストア派の分析に関する研究結果を、チャールズ・サンダー・ピアスの記号論を用いて提示、分析、解釈し、報告する。

A. アニメ「蟲師」の概要

このアニメは、白髪の男性で、緑色の瞳を持つ銀行ギンコという名前の主人公に焦点を当てている。銀行は「蟲師」と呼ばれ、蟲の研究者と言えます。日本語では「蟲」は文字通り虫を意味しますが、このアニメでは蟲は周囲に常に存在する超自然的な存在に変わり、それを見ることができるのはごく一部の人間だけである。そして、これらの蟲は人間を苦しめる力を持っており、また特定の状況下で人間を助けることもある。このアニメは銀行の旅を中心に、日本全国を巡りながら彼が蟲との対峙する方法を描いている。

B. データの提示

研究者は「蟲師」アニメの13エピソードから20件のデータを収集しました。これらのデータは Manampiring の著書「哲学の基本」に基づくストア派の概念に従って提示され、チャールズ・サンダー・ピアスの記号論の概念である表象体、対象、解釈（ROI）に基づいて分析される。

C. データの分析

表象体、データの表象体1：ギンコは子供の蟲を取り除いた後、子供をその場に置いて去って行きます。解釈：この場面では、ギンコは自然と調和した生き方を表現している。ギンコは子供の体内の蟲を取り除いた後、その子供を助けた後の人生については考えない。ギンコは、子供が自分自身で生きるべきだと合理的に考えている。ギンコはストア派の概念に従って、平和で否定的な感情から解放された生活を送るためには、個人は自然な思考や合理性を持つべきだと主張している。そのため、ギンコは助けを必要とする人々

が助けを受けた後でも、その人々が自分自身の方法で生きるべきだと考えているため、再び助けを提供しない。

D. 研究結果の解釈

データの分析を行った結果、アニメ「蟲師」におけるストア派の概念は、20 件のデータに基づいて明らかになった。これらの概念には、自然と調和した生き方（例：ギンコが子供の蟲を助けた後にその場を去ること）や、支配の二分法（例：ギンコが相手の体内の蟲について説明する場面）が含まれる。



第五章

結論と提案

A. 結論

この研究では、チャールズ・サンダー・ピアスの記号論を使用して分析された20件のデータが得られた。この分析は、表象体、対象、解釈から成る三角の三要素を使用して行われた。アニメ「蟲師」には、ヘンリー・マナンピリンの理論に基づくストア派の6つの概念に合致する20のストア派の表現が見つかる：自然と調和した生き方、支配の二分法、解釈と認識の制御、精神の強化、アモル・ファティ（運命を愛する）および苦難と災難への対処である。

B. 提案

研究を行った結果、研究にはまだ不足があることや、研究プロセスにおける障害が存在することが明らかになる。この提案の目的は、今後の研究の評価として、より良い研究が行われるようにすることである。JIA 外国語の大学にとって、一般的な哲学および日本の哲学に関する書籍は、学生の視野を広げるために重要である。将来の研究者は、哲学的な問題に関心を持つことを支援するために、この分野に貢献できるでしょう。読者はまた、ストア派の哲学に関するより深い理解と知識を得ることができるでしょう。